

果樹・樹木医学 研究室

吉野ゼミナール

《研究室について》

カンキツ類、落葉果樹に関する栽培技術の調査、研究及び樹木の管理技術について学びます。

《担当教員》

吉野 賢一

《担当教科》

果樹園芸学総論、果樹各論、樹木医学、園芸実験実習 II・IV、園芸研究

果樹・樹木医学

机張原農場で主にミカンの剪定・摘果・病虫害防除方法・収穫・選定などを学びます。また、ミカンをはじめ、ブルーベリー、ブドウを使用した研究も行っています。



産・学・官連携事業

「大分県新たな森林づくり事業」による産・学・官連携の協働事業として、佐賀県地域における「地域資源（ヤブツバキ）を活かした里山の再生」に取り組んでいます。



柿のタンニンプリントに挑戦！



ブドウの剪定



ブルーベリーの発根調査



在校生より

カンキツ、ブドウ、カキ、ブルーベリーなどの果樹の管理について実習をしています。カンキツ園での摘果作業やミカンの収穫など楽しい行事が多くあります。

ゼミ研究では果樹の管理に関すること以外にも、果実の利用、植物の繁殖技術についてなど果樹に限らず学生のやる気次第で何にでもチャレンジすることができます。

《ゼミナールテーマ》

- ・ブルーベリーの新梢緑枝挿木繁殖による活着率の向上試験
- ・大分県特産カボスの加工品の試作
- ・カボスの黒点病に関する耕種的防除に関する研究
- ・カンキツ園のナギナタガヤ草生栽培に関する効果の確認試験
- ・ピオトープにおけるカエルの種別判定に関する調査
- ・カキ（西村早生：不完全甘柿）のタンニンプリント法による脱渋に関する研究